

# 日刊建設工業新聞

10月7日

金曜日  
第17837号

発行所 ©日刊建設工業新聞社 2011 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 URL:http://www.decn.co.jp/

新聞

企業

(第3種郵便物認可)

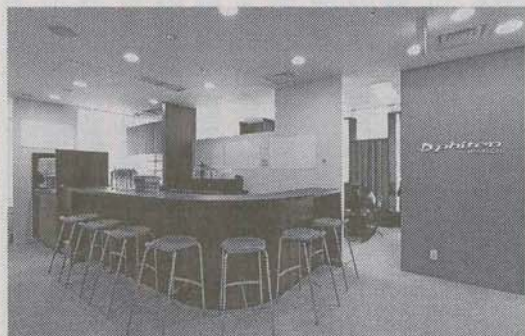
## 「ファイテンルーム」本格展開

内藤建築事務所の関連会社で、維持管理修繕業務を手がけるコストトレード(京都市左京区)と、健康・スポーツ関連用品メーカーのファイテン(同市中京区)などが共同で取り組む「ファイテンルーム」のプロジェクトが本格化してきた。導入実績を伸ばす中、提携各社の意思統一を図るとともに、生体リズムを考慮した照明の開発や、アクアチタンの効果が体感できるサロンの開設といった取り組みを展開。今後は「健康・癒やし」に対する潜在的なニーズを付加価値として提案することで普及を図っていく方針だ。

「ファイテンルーム」は、リラックスをサポートし、やすらぎを与える「アクアチタン」を含有した建材・家具などを用いて、質の高い眠りと癒やしの空間を提供する産学・異業種連携のプロジェクトで、09年にスタート。これまでに病院や高齢者福祉施設、障害者支援施設、ホテルの新築・リニューアルなど、設計中を含め、全国で10件の導入実績がある。

### コストトレードら

メンバーはトキワ産業、大日本塗料、富双合成、嵯峨商事、イトーキ、メディアカル経営研究センターなどで、業務提携の形で参画。各社とも「他社との差別化の大きな武器になる」(舛田羊一イトーキ営業本部プロジェクト推進部プロデュース)、「これからの施設環境に癒やしは不可欠」(山村善仁メディアカル経営研究センター社長)といった期待を寄せている。



今年6月に開設したIPサロン銀座店



ファイテンルームを採用したグループホームしらかばの室内

## 「健康・癒やし」空間普及へ

こうした中、昨年12月に小規模多機能型施設、高齢者専用賃貸住宅などをターゲットとすることを確認。開いた合同会議では、各企業の商材をパッケージ化し、「安らぎ・リラクゼーション」の空間を提案していくことや緩和ケア・精神科病棟、グループホーム、雄氏も「かなり高いレベルの建築を提供できる体制が整った」と評価する。この会議を踏まえ、新たな展開として、明かりが生体リズムに与える影響に着目。健康や眠りのバランスを整える照明を検討しているほか、今年6月にはファイテ

ンが東京・銀座に、ファイテンルームのイメージを具現化した「IPサロン」を開設。この取り組みで「われわれの考えをエンドユーザーに問いかけたい」(石浦氏)という。同プロジェクトについて、石浦氏は「国内外の大学がアクアチタン素材を研究し、それを企業が具体化する非常におもしろい事業になりつつある」と強調。コストトレードの中嶋一浩代表取締役は「導入された方からは効果を実感する声が多く、リピーターも増えている。最終的には高齢者の住まいのあり方としても提案していきたい」と話している。

問い合わせは、ファイテン施設部(電話075・229・7607)、コストトレード技術部(電話075・706・8144)まで。